

# 夏休み親子セミナー

## 「驚き・発見！みんなでつくろう土の家」 報告

開催日時：平成 22 年 8 月 21 日(土)13：30～17：00

開催場所：神戸市埋蔵文化財センター

参加費：500円(材料代)

参加人数：子供9名、保護者6名、計15名(スタッフ14名)

講師：埋蔵文化財センター 山口学芸員

兵庫県建築士会神戸支部情報企画委員会 山際、横田

内容：1) 第1部 / 縄文・弥生時代の生活とすまいの解説

2) 第2部 / クイズと実験

3) 第3部 / 「土の家」制作・作品発表 他

兵庫県建築士会神戸支部情報企画委員会では、昨年に引き続き「夏休み」期間中の親子参加事業を企画しました。準備期間も限られたなかで、スタッフはクイズ作成や実験に工夫を凝らし、土の家作成の材料調達や準備に奔走しました。

以下に当日の様子をお伝えします。

### 第1部

埋蔵文化財センターの学芸員山口様に縄文時代や弥生時代のすまいについて分かりやすい説明をしていただきました。当時から土の断熱性や蓄熱性を利用したすまいであることを説明していただきました。

また、竪穴式住居の茅の上に土をのせ、耐火性を確保していたと思われる、といった仮説も披露していただきました。



## 第2部

建物に使われる材料に関するクイズを出し、子供達に答えてもらいました。また、昆虫の巣や日本を含め世界各地にある、土を素材としたおもしろい家を紹介しました。クイズでは子供から積極的に答えを引き出すことができ、有意義な時間が過ごせたと思います。



続いて、条件の異なるいくつかの細長い板に重りを載せ、たわみ方にどのような違いがあるか、また牛乳パックを利用して筋交いの効果を確認する実験を行いました。子供達から質問が相次ぎ、実験終了後もその場に残り、子供達の質問に少々戸惑いながらも、講師が応えている姿は新鮮に映りました。



薄板を使ったたわみ実験の様子



牛乳パックの実験の様子

## 第3部

子供達お待ちかねの「土の家」の制作です。当初の予定は屋外での制作でしたが、猛暑が続いており、熱中症対策のため会場をエントランスロビーに変更して実施しました。また、保護者の方々にも「土の家」の制作に参加していただきました。子供も親も、「土の家」制作に夢中でした。できあがった作品は一人ずつ皆さんの前で披露し、どんなテーマで作成したのか、どんなところを工夫したのかを発表していただきました。その後、貫頭衣（弥生時代の服）を着て作品を持ち写真撮影を行いました。そして、その写真を「土の家博士」認定証に貼り付け、子供達に授与しました。



「土の家」作成中です。さてどんな家ができるのかな？



貫頭衣を着る子供達



作品を持って記念撮影



子供達による作品発表



「土の家博士認定書」の授与

セミナーのまとめとして、子供達が大きくなって家を建てる時、地震に負けない安全な家、身体に優しく病気にならない快適な家、創意工夫のある自分らしい家造ることを伝えました。どの子も帰り際には満面の笑みを浮かべ「ありがとう」「楽しかった」と言ってくださり、事業の成功を実感するとともに疲れも吹き飛んでしまいました。

最後に、会場を提供してくださった上に、急な変更にもいろいろと対応していただきました埋蔵文化財センターの皆様、事前の準備から当日の段取りに至るまでご協力いただいたすまいるネットの皆様へ、心よりお礼申し上げます。



子供達がつくった「土の家」を少しだけお見せします